



部屋中に飾られた今までの作品。

でも、ホピ族の村に一番近い空港からは、バスが

阪神淡路大震災から2年経った頃、本を読んで、ネイティブアメリカンのホピ族が「声のチューニングで地球の地軸を修正している」と知りました。ちようど私はニューヨークでグループ展を行う予定もあり、6カ月滞在することになったので、彼らのもとを訪れることにしたんです。

私はいくつかの経験により、思考ではなくハートの奥から地球を慈しむというこ

とが理解できるようになったんです。メッセージを伝えるためのエネルギーアートとして



水口さんのアトリエ。緑豊かな自然に囲まれた中で制作に打ち込んでいる。



精霊たちとともに生きる ホピ族の村に滞在

気づいたら、私は常に宇宙(源)と繋がるようになっていました。祈りの時には、「おー」「あー」などの声を出します。時には、歌になることもあります。

不思議なことに、その時、ホピ族の精霊が私の心の中に入り込んだような感覚がありました。

奈良にいた頃、私は素晴らしいメッセージをたくさん受け取っていました。でも、当時は、「自分はまだまだ未熟で、メッセージの通りには生きていない」と感じていました。

帰国後、その続きが起きました。夜、夢の中で、私のそばにネイティブアメリカンの男性が現れ、様々な物語をしゃべり始めたんです。

絵を描いて発表するうちに、「絵のエネルギーが強く、細胞を活性化させるヒーリングの働きがある」と何人かに言われるようになりました。絵のエネルギーが見る方の心と体のエネルギーを高め、チャクラを開き、ヒーリングしているのではないかと思います。また、絵を通じて、メッセージを伝えることができることに気づきました。

絵を見た方から、「涙が出てきた」「癒された」などの感想をいただきました。私は、「自分の使命はこれかもしれない」と確信を深め、自分の絵をエネルギーアートとして、本格的な活動をすることに決めました。